

地域とともに歩む鉄のパイオニア ～JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)～



流れの
先に

東日本製鉄所(千葉地区)について

JFE スチール株式会社東日本製鉄所(千葉地区)は、「戦後日本の進むべき道は、貿易立国として立つ以外にない」という川崎製鉄株式会社初代社長の西山彌太郎氏の信念の下、戦後初の大規模一貫製鉄所(鉄鉱石からの鉄の抽出から最終製品の製造までを一つの敷地内で行う製鉄所)として計画されました。その投資計画は200億円を超え、当時の同社の資本金5億円と比べて極めて大規模だったことなどから、政府・財界の多くの関係者から無謀と評される中、西山社長の卓越したリーダーシップと見識、社員の熱意、そして地元千葉県・千葉市の熱烈な支援などにより、同社設立翌年の1951年に同製鉄所開設、1953年に第1高炉の操業開始に至りました。



初代社長 西山彌太郎氏

同製鉄所は高度成長とともに大きく躍進し、埋め立てなどによる敷地の拡幅、さらには1990年代以降のリフレッシュ工事を経て、現在はディズニーランドとディズニーシーが7～8個入る(約766万m²)広大な敷地で、徹底した省資源と省力化を実現した「21世紀の都市型製鉄所」として活躍を続けています。



浴鉱炉(第6高炉)外観



“あばれ沼”と呼ばれ、幾多の災害を引き起こしてきた“印旛沼”。しかし、昭和21年から始められた印旛沼開発事業により、治水はもとより、農業用水、工業用水及び水道用水の多様な利水機能を持った印旛沼に生まれ変わりました。

今回は、印旛沼開発事業の主要な工業用水利水者であるJFEスチール株式会社東日本製鉄所(千葉地区)を訪問し、岩山総務部長及び荻野エネルギー技術室長から、同製鉄所の沿革やそこで駆使されている製鉄技術などについてお話を伺い、見学をさせていただきました。

世界最先端の技術と最高品位の製品

同製鉄所では、最新の圧延・表面処理技術などを駆使し、鋼板の中でも自動車や食缶向けの薄板を主に製造しています。



転炉風景

この薄板は、美観性、精度、加工性などの点で顧客からの非常に厳しい品質要求の下で製造される高級鋼板の代名詞として、



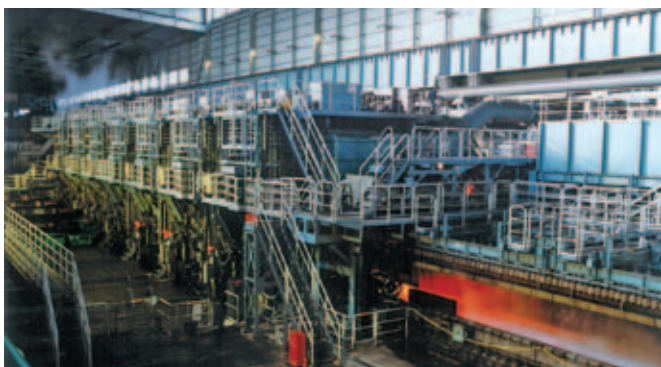
自動車フレーム

世界で最も優れた製品のひとつとして知られており、缶詰や缶飲料、ステンレス鋼板を生かしたキッチン・シンク、優れたデザイン性を誇る自動車用鋼板、高性能の大径鋼管によるパイプラインなどとして、世界中のあらゆる場面で活躍しています。

製鉄を支える“水”の管理

製鉄の過程には“冷却”や“洗浄”が欠かせず、良質な水の安定確保は必要不可欠です。また、同製鉄所では食缶向け鋼板を生産していることもあり、水に関しては水量だけでなく水質にも細心の注意を払うと伺いました。同製鉄所で鉄1トンの生産に必要な水量約300トンのうち約半分は飲料水相当の水質、さらに製品にいたる最終工程においては純水（蒸留水）にまで磨き上げた水を使っているとのことでした。

その上、東京湾に排出する排水の水質管理も厳格で、取水時よりもCOD（化学的酸素要求量：代表的な水質指標の一つ）の値を下げ、きれいにして排出するというお話に感銘を受けました。同製鉄所の水管理に対する姿勢に頭が下がるとともに、私たち水資源機構の原水供給者としての責任を改めて感じた次第です。



仕上げ圧延機（鉄板の冷却時風景）

地域とともに歩む製鉄所

同製鉄所では地域社会との共存共栄を目指し、昭和52年から続くJFEちばまつりの開催、製鉄所見学の受入れ、同製鉄所の60年余りの歴史を紹介する西山彌太郎・千葉記念館の開設など、様々な取組をされています。これら魅力あふれるイベントや施設に是非足を運ばれてはいかがでしょうか。



JFE ちばまつり（10月第4日曜開催）



製鉄所見学風景



取材に対応して下さった岩山部長・荻野室長（西山彌太郎・千葉記念館入口）

紙面の関係で詳細を紹介できませんでしたので、以下のHPも是非ご覧ください。

■東日本製鉄所（千葉地区） 地域とのふれあいのページ
<http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/chiba/community/index.html>

■西山彌太郎・千葉記念館
<http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/chiba/community/memorial.html>

■また、地元千葉市と協働した小中学校の教育旅行等の誘致も実施中です。
<http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/chiba/kyodo.html>

読者プレゼント

「スプーンセット」

5名様



今回取材に協力頂きましたJFEスチール株式会社東日本製鉄所（千葉地区）様より、読者の方5名にプレゼントを頂きました。同社が2006年に「日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」受賞したステンレス鋼板（JFE443CT）を使用したスプーン5本セットです。

ご希望の方は、①ご住所 ②お名前 ③性別 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥このコーナーを含む本誌の感想を記入の上、ハガキにて下記までお申し込み下さい。

■宛先 〒330-6008 さいたま市中央区新都心11番地2
独立行政法人水資源機構広報課 広報誌係

■応募締切 平成26年6月30日（月）（消印有効）

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
いただいた個人情報の目的外利用はいたしません。